

科目名	環境地盤工学	科目コード A3110
-----	--------	----------------

専攻科・学年	環境都市工学専攻 1 学年 (プログラム3 学年)	担当教官	福田 誠 (環境)		
単位数	1 単位・選択	開講期間	前期	時間数	30 時間
				内訳 <small>(時間)</small>	講義(28),その他(2)
教科書	自作のプリントを配布				
補助教材	ビデオ、OHP				
参考書	地盤環境読本(地盤工学会)				

A 科目の概要	
<p>従来から地盤工学は、地球環境や建設に伴う各種の環境問題の解決に貢献してきている。ここでは、環境地盤工学の基礎として、土の性状を化学的および物理化学的な視点から現在、問題になっている話題を中心に平易に学習する。</p>	
B 到達目標	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地盤環境工学の視点から土を理解する。</li> <li>・ 地盤環境指標の測定方法と測定値が意味することを理解する。</li> <li>・ 人間活動が環境にどのように関わっているか学習する。</li> <li>・ 自然営力に基づく各種の災害と、その防止対策を学習する。</li> </ul>	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(D)
D 履修上の注意	
<p>環境地盤問題は現場を見て、手で触れながら理解することが第一であるので、出来る限りビデオ、OHP など見せます。 化学の知識は中学校高学年程度。</p>	
E 評価方法	
<p>・ 地球環境工学の視点から土について設問により理解度を評価する(25%)・地球環境指標の測定方法と測定値が意味することについて設問により理解度を評価する(25%) ・ 人間活動が環境にどのように関わっているかについて設問により理解度を評価する(25%) ・ 自然営力に基づく各種の災害と、その防止対策について設問により理解度を評価する(25%) 定期試験【80%】(前期中間(0),前期末(80),後期中間(0),後期末(0))、その他の試験【0%】、レポート【20%】、その他【0%】 の割合で到達目標に対する理解の程度を評価する。60 点以上を合格点とする。</p>	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	環境地盤工学の視点からの土(1)	
2	環境地盤工学の視点からの土(2)	
3	地盤の環境要因を調べる(1)	
4	地盤の環境要因を調べる(2)	
5	地盤の環境災害・公害(1)	
6	地盤の環境災害・公害(2)	
7	地盤の汚染(1)	
8	地盤の汚染(2)	
9	地盤の汚染(3)	
10	地盤の汚染(4)	
11	地盤の安定処理と化学(1)	
12	地盤の安定処理と化学(2)	
13	地球環境を土から見る	
14	試験	
15	試験結果の解説	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		